

リアルタイムAWDが進化。さらに、Honda初「SPORT HYBRID i-MMD」にも搭載

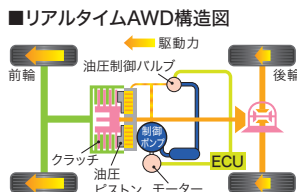
雪道などでの旋回もさらにリニアに、スムーズに **One Motion**

電子制御で後輪の駆動力を緻密かつ素早くコントロールするリアルタイムAWDを、ガソリン車に加え、新たにハイブリッド車にも設定しました。各種センサーにより走行状況を検知し、前輪が空転する前に後輪へ駆動力を伝達するとともに、前後輪の駆動力配分を緻密に行うことで、雪道での発進やコーナリング、登坂などで優れた走



写真は海外仕様車

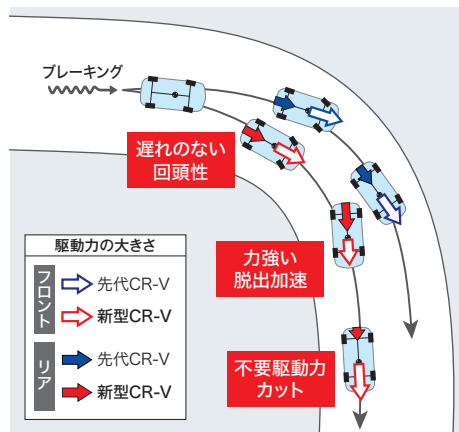
破性を実現します。この知的なAWDシステムを、CR-Vベストにセッティング。アクチュエーター制御の緻密化に加え、ヨーレートセンサーとステアリング舵角センサーのフィードバック制御により、旋回性能を大きく向上。ドライな路面から雨や雪のシーンまで安心して快適な走りを実現しています。



コーナー進入時

コーナー進入（アクセルオフ）時はFF走行とし、アンダーステアを抑制してライントレース性を向上。

■旋回シチュエーション



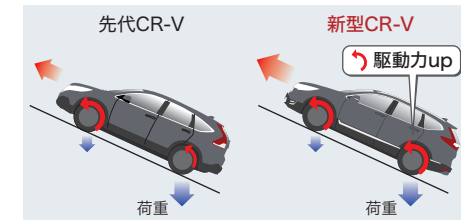
旋回加速時

ドライバーが加速に転じると、素早く後輪へ駆動力を伝達。路面状況やドライバーのアクセルペダル操作に応じて、前後駆動力を最適に配分します。おだやかな加速では、安心感の高いニュートラルステアとなるよう駆動力を配分。ドライバーが強い加速を求めた場合は、安定性を確保したうえで、後輪の駆動力がより大きくなるよう制御し、後輪駆動力で旋回していくような弱オーバーステアまで楽しむことができます。

登坂性能を大きく向上

58:42（ハイブリッド車）という優れた荷重配分をベースに前後輪の駆動力配分を最適化し、リアデフのトルク容量を先代モデル比+200N・mとなる550N・mへアップすることで、発進および登坂性能を向上させました。

■登坂時の駆動力配分イメージ



4WDの駆動力配分を、メーターに表示

前後輪に配分されている駆動力を、リアルタイムに変化するアニメーションによってマルチインフォメーション・ディスプレイに表示。4WDの駆動状態を一目で把握できます。



（特許出願中（2018年8月時点））

Honda革新のハイブリッドシステム **SPORT HYBRID i-MMD**

インテリジェントに進化 **リアルタイムAWD**

- 主役は高トルク・高出力モーター
- 発進直後から力強くスムーズな加速
- アクセルペダル操作にダイレクトに応えるレスポンスの良い加速
- 3つの走行モードから最も効率的なモードを自動的に選択

- 電子制御による緻密かつスピーディーなコントロール
- CR-Vベストのセッティング



写真は海外仕様車

かつてないほど
リニアで安心感のある
新ドライバビリティ

「SPORT HYBRID i-MMD」ならではのパワフルなトルク特性と、電子制御により緻密な駆動力コントロールを実現した知的なAWDシステムの特徴が、路面μの低い雪上などでのコーナリングにおいても、ドライバーのイメージにリニアで安心感のある旋回性能を、かつてないほど高次元で獲得しています。